

★ まちの話題 MY TOWN TOPICS

★ 鷹巣小学校児童らが田植えに挑戦 食の大切さを感じてほしい

鷹巣小学校（脇村洋一校長）5年生44人が6月24日、学校近くの水田で田植えに挑戦しました。

児童たちは、水田の持ち主の北村秀紀さん（本町）に手植えの方法を教してもらいながら、植え付けを行いました。

汗をかきながら植え付けを頑張った宮路隆太郎さんは、「手植えをするのは2回目だけど、大きく育ってほしいと思いながら植えました」と満足げな様子でした。

3年ぶりに水田を提供した北村さんは「自分たちで植えることで、ただ販売されているものを買って食べるのではなく、自分で作って食べる『食』の大切さを感じて欲しい」と話しました。



↑北村さんに手植えを教わる児童

★ 第33回南日本小・中学生陸上競技大会 長島陸上クラブの2人が活躍

6月19日に県立鴨池陸上競技場で開催された第33回南日本小・中学生陸上競技大会で、長島陸上クラブ（山口忠監督）の2人の児童が活躍しました。

走り高跳びで1メートル25センチを跳び見事に優勝し、全国大会出場を決めた濱口天聖さん（鷹巣小・6年）は「優勝できてうれしい。全国大会では1メートル35を跳んで上位に入りたい」と笑顔で話しました。

中村晃斗さん（伊唐小・6年）は800メートルで2分27秒52の好タイムで3位に入賞「自己ベストを7秒短縮して入賞したのでうれしかった。これからも長距離を頑張っていきたい」と抱負を話しました。



↑入賞した濱口天聖さん（左）と中村晃斗さん（右）

★ 伊唐小学校花いっぱい運動 地域のお年寄りと緑化活動

6月22日、伊唐小学校（久保和久校長）では地域の老人会会員と一緒に花いっぱい運動を行いました。

この運動は児童が花植えを通じて老人会の人たちと交流しながら、地域を自分たちの手で美しくしようとする気持ちを育むため、毎年実施している緑化活動です。

この日、伊唐小学校の全校児童19人は、老人会会員15人の協力をもらいながら、マリーゴールドやケイトウの苗約300本を伊唐港前の花壇に植えました。

活動終了後、児童を代表して6年生の高橋大希さんが「今年もそうめん流しや敬老会と一緒に楽しみましょう。今日はありがとうございました」とお礼のあいさつをし、手作りのメッセージ入りメダルを会員らへプレゼントとして手渡しました。



↑老人会の会員に手伝ってもらいながら花を植える児童